



# 藤沢市地産地消の推進に関する条例及び

# 藤沢市地産地消推進計画について





## 藤沢市地産地消の推進に関する条例（93頁）

### ～社会的背景～

輸入食品の偽装問題など社会的に食品への安全性が求められていた。また、都市型農業を継続していくためにも、耕作放棄地や荒廃地の問題、自給率の向上、食育の推進、市内の農業の活性化等などの課題があった。

→ 2009年9月議会において、議員提案による「藤沢市地産地消の推進に関する条例」が制定

→ 関係機関の役割のほか、計画の策定や協議会の組織を位置づけ





## 藤沢市地産地消推進計画（3頁）

- 条例13条に基づき、地産地消の推進に関する施策を計画的に推進するための指針として策定。
- 現計画（第5期計画）の期間は、2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年間。
- 令和8年度に次期計画（第6期計画）を策定します。



## 藤沢市地産地消推進協議会（96頁）

- 条例14条に基づき設置。地産地消推進計画に関する事項等を調査審議する組織。
  - 組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定められている。
- 藤沢市地産地消推進協議会規則



## 藤沢市地産地消推進事業実行委員会 (34、98頁)

- 藤沢市地産地消推進計画に基づき、地産地消推進事業を実施する機関として組織。
- 実行委員会は、藤沢市地産地消推進協議会の委員の中から構成。
- 実行委員会は、予算・決算、事業計画等を審議し、決定する。
- 実行委員会の経費は、負担金（令和7年度は175万円）をもって充てる。
- 3つの部会（藤沢ブランド創出部会、学校・保育園給食供給強化部会、地産地消普及啓発部会）を編成。





# 藤沢市地産地消推進計画の概要 (目次 1 頁)

## 第1章 計画の策定にあたって

- ・計画策定の趣旨
- ・計画の位置づけ
- ・計画の期間
- ・地産地消とは

## 第2章 藤沢市の農水産業

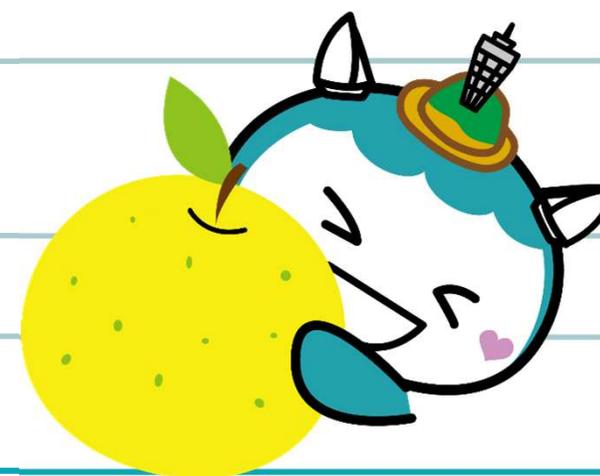
- ・藤沢市の農水産業の現状
- ・藤沢産農水産物カレンダー

## 第3章 第4期計画で実施した取組と進捗状況

- ・第4期計画の取組
- ・重点的に取り組む施策の状況
- ・長期的に取り組む施策の状況

## 第4章 第5期計画に向けた施策の検討

- ・重点的に取り組む施策の検討
- ・長期的に取り組む施策の検討





# 藤沢市地産地消推進計画の概要

## 第5章 第5期計画における施策

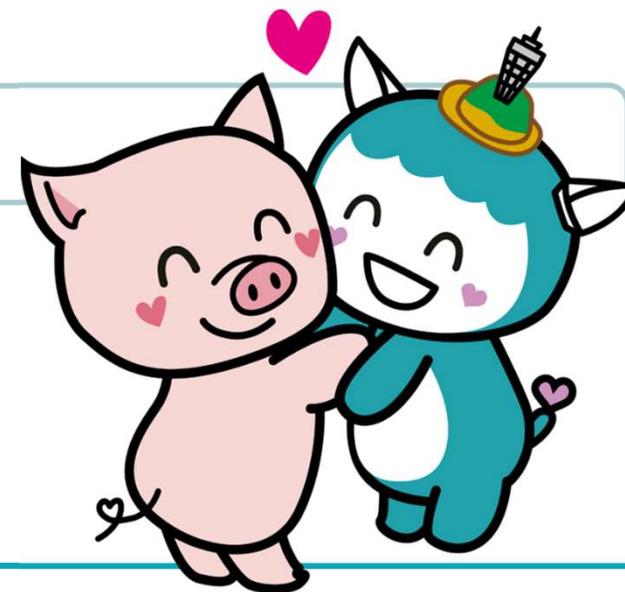
- ・ 重点的に取り組む施策
- ・ 長期的に取り組む施策
- ・ 第4期計画と第5期計画の比較表

## 第6章 計画の推進にあたって

- ・ 計画の推進体制
- ・ 関係者の役割

## 資料編

- ・ 令和2年度地産地消に関するアンケート調査結果
- ・ 藤沢市地産地消の推進に関する条例
- ・ 藤沢市地産地消推進協議会規則
- ・ 藤沢市地産地消推進事業実行委員会規約
- ・ 藤沢市地産地消推進協議会委員名簿





# 第5期計画における施策（41頁）

## 1 重点的に取り組む施策

- ・ 藤沢ブランドの創出
- ・ 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化
- ・ 地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化

## 2 長期的に取り組む施策

- ・ 藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策
- ・ 本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策
- ・ 関連する施策との連携





# 重点的に取り組む施策（4 1 頁）

## （1） 藤沢ブランドの創出

- ・ 藤沢ブランドとなる新たな一次製品の創出
- ・ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援
- ・ 未利用魚の認知度向上
- ・ 産地競争力の強化



藤沢生まれの藤稔



藤沢産酒米『藤田熊醸』



未利用魚の地魚団子





## 重点的に取り組む施策（４２頁）

### 《目標》

目標値：かながわブランドへの登録件数

- ・現状（令和８年１月） ２０件
- ・令和８年度目標 ２３件

うち登録名に「**藤沢**・**ふじさわ**」が入っているもの 目標５件

○藤沢産品のかながわブランドへの登録数２０件（令和８年１月現在）

- ①さがみのレタス ②さがみのトマト ③津久井在来大豆（さがみ産） ④横濱ビーフ ⑤やまゆり牛 ⑥さがみ牛 ⑦湘南和牛 ⑧生粋かながわ牛 ⑨やまゆりポーク ⑩かながわ夢ポーク ⑪湘南ポークオリーブプレミアム ⑫かながわ鶏 ⑬高座豚手作りハム ⑭生芋こんにやく 生芋つきこんにやく ⑮湘南しらす（生） ⑯湘南しらす（加工品） ⑰湘南はまぐり ⑱江の島カマス ⑲湘南土ねぎ（さがみ） ⑳**藤沢**生まれの藤稔





# 重点的に取り組む施策（43頁）

## （2） 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化

- 藤沢産米の利用促進
- 藤沢産農水産物等の利用促進
- 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進
- 給食を通じた家庭への情報発信
- 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用



生産者と保育園児の交流



生産者による授業



有機野菜の給食





## 重点的に取り組む施策（44頁）

### 《目標1》

取組項目：ア 藤沢産米の利用促進

目標値：藤沢産米の使用数量（精米ベース）

（小学校及び特別支援学校）

- ・現状（令和6年度実績） 36校 18回 34,330kg
- ・令和8年度目標 36校 22回 38,750kg

（中学校）

- ・現状（令和6年度実績） 19校 10回 4,560kg **（達成！）**
- ・令和8年度目標 19校 7回 2,660kg

（保育園）

- ・現状（令和6年度実績） 14園 1,685kg **（達成！）**
- ・令和8年度目標 14園 1,000kg





## 重点的に取り組む施策（44頁）

### 《目標2》

取組項目：イ 藤沢産農水産物等の利用促進

オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用

目標値：学校給食における青果物の藤沢産使用割合  
(小学校及び特別支援学校)

- ・現状（令和6年度） 12.2%
- ・令和8年度目標 22.7%





## 重点的に取り組む施策（４７頁）

### （３）地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化

- ・新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催
- ・生産者と消費者の交流イベント等の開催
- ・食育・健康施策との連携
- ・未来を担う若い世代への普及啓発
- ・藤沢産農水産物等の表示



収穫体験講座



畜産ふれあいまつり



藤沢産ロゴマーク





## 重点的に取り組む施策（４８頁）

### 《目標》

取組項目：オ 藤沢産農水産物等の表示

目標値：藤沢産ロゴマークの認知度

- ・現状（令和６年度アンケート調査） 43.7%
- ・令和８年度目標 50.0%



藤沢産ロゴマーク





# 長期的に取り組む施策（49頁）

## (1) 藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策

- ・ 安心・安全な藤沢産農産物の生産・流通体制の整備
- ・ 新鮮な藤沢産農水産物の提供
- ・ 藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供
- ・ 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化

**藤沢産利用推進店とは？**

藤沢市では、地産地消を推進するための事業「藤沢産利用推進店」制度を実施しています。  
この制度は「藤沢産」農水産物、食品を取り扱う飲食店等を「藤沢産利用推進店」として認定し、積極的にPRすることで、地産地消の推進と地場農水産物の消費拡大を目的として実施する事業です。

認定されますと、藤沢市ホームページ等を利用して、利用推進店のPRを行っています。また、認定証ののり貼等を無償で与えます。地元食材を使用するお店ですという目印として各店舗で活用していただいています。

さらに詳しく知りたい方は  
こちらのQRコードをタップ！

**利用推進店はこのマークが目印！**

認定証  
のり貼  
プレート  
のびり旗

**【藤沢産認定ラベル】**

あみきゃん  
あみきゃん  
あみきゃんメニュー

認定ラベルとは—2017年からラング認定制度が始まり、あみきゃんの登録はひときゃんの登録より多くの藤沢産食材を使用しています。

**湘南しらすとは？**

「しらす」とは？  
しらすはいわし類の仔魚・稚魚の総称です。春のしらすの多くは黒潮に乗って沖からきたものであり、夏しらすや秋しらすは沿岸域で生まれ育ったものです。

**湘南しらすの特徴**

- 品質優良の漁法**  
しらす漁は、2隻の高船で網を曳く2そう曳きと、1隻で曳く1そう曳きがあります。神奈川県のしらす漁業は1そう曳きで、網を曳く時間が短く、一度に獲れる量が少ないため、網の中でしらすが傷みません。
- 漁場が近く新鮮**  
湘南しらすの漁場は、黒潮が流れる沖合に向かって開けている相模湾。相模湾の中でも、各漁村それぞれ目の前の漁場で獲れ、漁場から水揚げまで時間をかけません。近道を逃がして、1日の操業を短時間で切り上げ、1日のうちに獲れた魚を迅速に提供する操業パターンもあり、鮮度を高い状態で提供しています。
- とれ立て解凍で加工も直売**  
漁業者が即加工・直売します。かきあげプランでは、しらすは漁獲した日に販売、釜揚げ・しらす干しは釜茹での他に以外の保存料や添加物を加えない等の出荷基準を定めています。

出典：湘南しらす船形漁業推進協議会ホームページ

※販売所 藤沢市農業水産課 ☎0466-50-3532



藤沢産利用推進店の充実

量販店等での藤沢産コーナー設置促進



# 長期的に取り組む施策（52頁）

## (2)本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策

- ・担い手の育成支援及び確保
- ・持続可能な生産環境への支援



オーガニックマルシェの開催



援農ボランティア養成講座の開催



魚介類稚魚・稚貝の放流

## (3)関連する施策との連携

- ・公民館・地域団体等が実施する施策との連携
- ・観光施策との連携
- ・シティプロモーション事業との連携



## 計画改定スケジュール

- 令和8年6月 第1回協議会（現計画の進捗報告）
- 8月 第2回協議会（計画（素案）について）
- 10月 第3回協議会（計画（案）について）
- 12月 パブリックコメント  
市議会へ中間報告
- 令和9年1月 第4回協議会（計画（最終案）について）
- 2月 市議会へ最終報告
- 3月 第5回協議会（計画（確定版）について）